

4-2 曾野木中学校区（曾野木地区コミュニティ協議会）

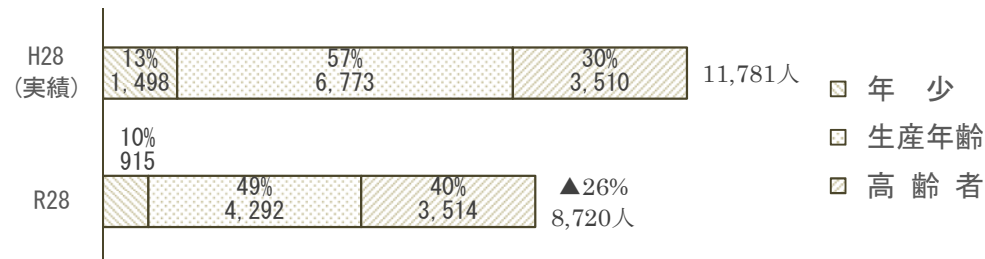
【概要】

① 地域概況、動向

- ・地域内は水田が広がる田園地帯となっている。県道1号及び県道2号により、市中心部への交通アクセスは良好となっている。
- ・小学校区2校区で構成されており、公共施設は住宅地に多く集積している。
- ・地域別実行計画の策定を通じ、既存の保育園の統合を図りつつ、市営住宅跡地に保育園およびコミュニティ活動のスペースを備えた施設が整備されることとなった。

② 将来推計人口【図-1】

- ・人口減少、少子・高齢化が進む。



③ 利用状況、コスト状況及び施設の老朽状況【表-1】

施設種類	施設名	ハード		ソフト			
		老朽化が進んでいる	耐震性に課題がある	コストが高い	利用が少ない・面積が大きい		
		償却率が75%以上か	耐震化率が50%未満か	コスト(※1)が類似施設の平均と比べ高いか	利用率(※2)が該当する類似施設の平均と比べ低い	利用量(※3)が該当する類似施設の平均と比べ大きい	
①コミュニティ系施設	曾野木地区公民館						
③図書館	曾野木地区図書室				●		
⑤ひまわりクラブ	曾野木ひまわりクラブ					●	
	東曾野木ひまわりクラブ			●		●	
⑦高齢者福祉施設	老人憩の家曾野木荘	●					
⑩保育園	曾野木保育園			●		●	
	第二曾野木保育園			●		●	
	ことぶき保育園	●				●	
⑪学校教育施設	曾野木小学校						
	東曾野木小学校			●		●	
	曾野木中学校	●		●			

※1 コスト評価の指標：純経費/利用者数…①⑦、純経費/貸出図書数…③、純経費/児童数…⑤⑪（小学校）、純経費/園児数…⑩、純経費/生徒数…⑪（中学校）
 ※2 利用率評価の指標：利用コマ数/利用可能コマ数…①、貸出図書数/蔵書数…③
 ※3 利用量評価の指標：㎡/児童数…⑤⑪（小学校）、利用者数/㎡/日…⑦、㎡/園児数…⑩、㎡/生徒数…⑪（中学校）

④ 将来に向けた検討課題

曾野木地域は、平成28年度に地域別実行計画を策定し、計画に基づき再編が実行されている。（曾野木地域実行計画は下記の通り）

曾野木地域実行計画

【背景】
曾野木地域では、市営住宅跡地活用の検討や、曾野木・第二曾野木保育園の老朽化による統合の検討をきっかけとして、実行計画の策定に着手し、平成28年10月から翌年5月まで全4回開催されたワークショップなどで得られた成果をもとに、実行計画を策定しました。

【再編の実施時期】
主要な施設の再編は、平成35年度を目途に実施することとします。また、新規整備施設の基本構想など詳細な検討の進捗状況や財政状況などにより、再編時期や内容について適宜見直しを行うとします。

公共施設の再編計画

地域の拠点を公民館と市営住宅跡地の二拠点とし、それぞれ機能を住み分ける

【概要】

- ・コミュニティ活動を行う機能の一部を市営住宅跡地に移転・拡充し、新施設を整備
- ・曾野木・第二曾野木保育園を統合し、新施設に複合化
- ・新施設は民間活力を導入を検討（保育園民営化・テナントスペースなど）し、コスト削減
- ・老人憩の家曾野木荘は、風呂以外の機能を新施設に移転・現在の施設は耐用年数を迎えた時点で廃止
- ・鍾木会館の機能は、新施設に移転

【効果】

- ・コミュニティ活動機能が拡充され、活動の活性化が期待
- ・コミュニティ拠点・保育園・老人憩の家の機能が複合化され、多世代交流が期待
- ・保育園の老朽化や駐車場不足が解消
- ・民間活力を導入しコストを削減することで、将来世代の負担軽減

再編スケジュール

	H29・30年度	H31・32年度	H33・34年度	H35年度
市営住宅跡地 新規整備施設	新設	基本構想	設計	工事
曾野木保育園	廃止	新規整備施設への複合化に向け 構想・設計	廃止に向け 準備	移転後 解体・売却
第二曾野木 保育園	廃止			移転後 解体・売却
鍾木会館	廃止			移転後 解体・売却
老人憩の家 曾野木荘	将来 廃止	将来廃止に向け準備		
東曾野木小学校	存続	存続		
東曾野木 ひまわりクラブ	廃止	東曾野木小へ 移転	解体・売却に向け準備	解体・売却

【今後の進め方】
実行計画策定の検討と同様に、計画の実施にあたっては、地域や施設利用者などに意見聴取を行いながら進めます。

■ 将来推計人口【表-2】（H28.9月末現在の住民基本台帳からの推計）

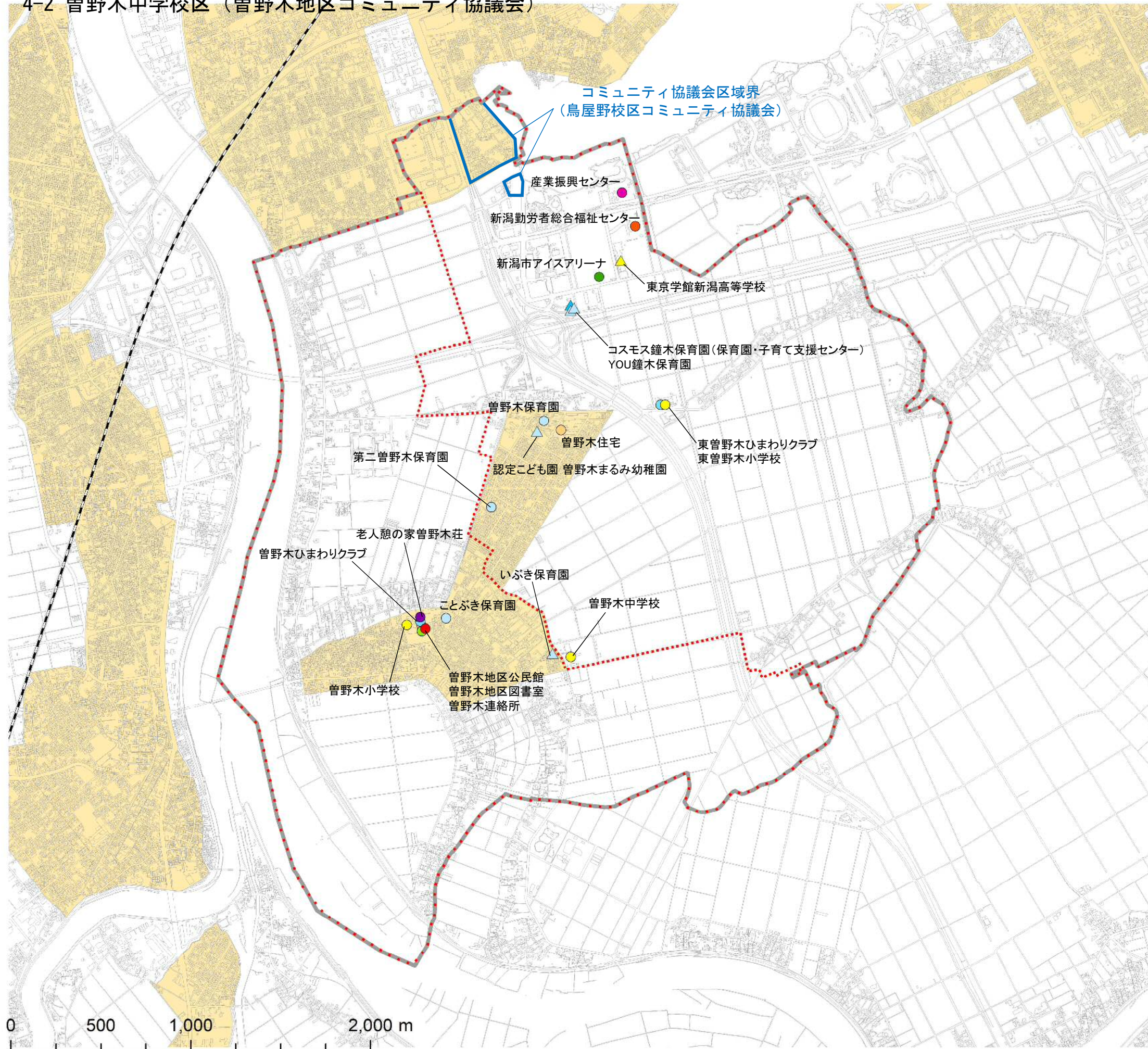
	H28(実績)	R8	R18	R28	増減（増減率）	
地域全体	11,781 人	11,111 人	10,057 人	8,720 人	▲3,061 人	▲26.0 %
高齢者（65歳以上）	3,510 人	3,749 人	3,580 人	3,514 人	4 人	0.1 %
生産年齢（15～64歳）	6,773 人	6,102 人	5,391 人	4,292 人	▲2,481 人	▲36.6 %
年少（14歳以下）	1,498 人	1,260 人	1,086 人	915 人	▲583 人	▲38.9 %

■ 児童生徒・学級数推計（通常学級）【表-3】

校名	R1（実数値）		R7（推計値）		増減	
	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
曾野木小学校	348	14	333	12	▲15	▲2
東曾野木小学校	172	7	163	6	▲9	▲1
曾野木中学校	234	8	253	8	19	0

4 江南区

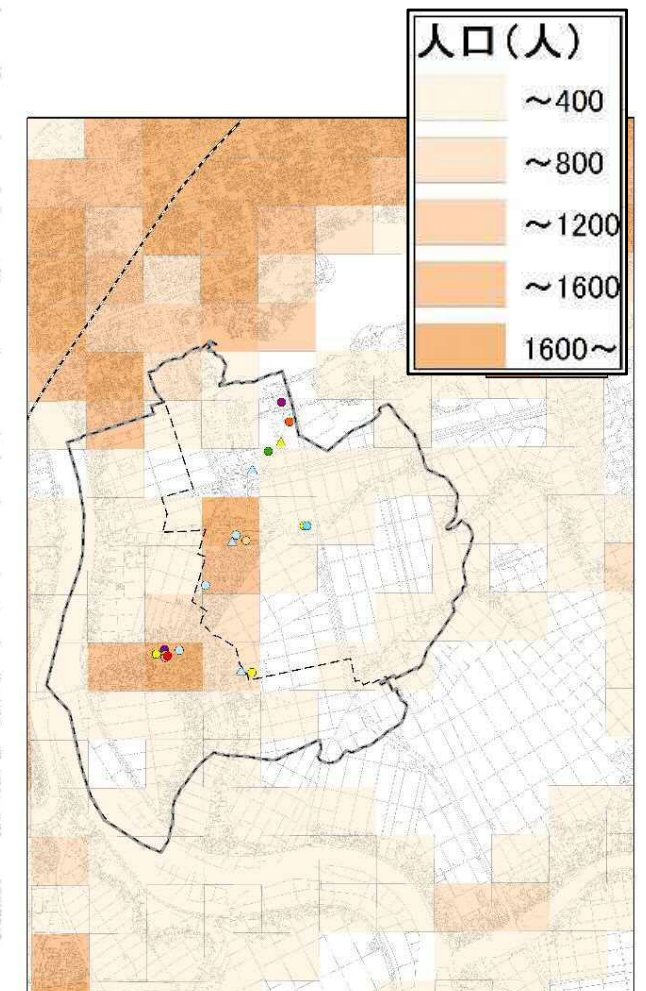
4-2 曾野木中学校区 (曾野木地区コミュニティ協議会)



凡例

- ホール施設
 - コミュニティ系施設
 - 図書館
 - スポーツ施設
 - ひまわりクラブ
 - 高齢者福祉施設
 - 保育園
 - 学校教育施設
 - 公営住宅
 - その他公共施設
 - 庁舎施設
 - ▲ 子育て支援施設(民間施設)
 - ▲ 保育園(民間施設)
 - ▲ 学校教育施設(私立)
- ⋯ 小学校区
□ 中学校区
■ 都市機能誘導区域
■ 居住誘導区域

平成27年国勢調査
人口分布図 (500mメッシュ)



※中学校区線・小学校区線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

■ 施設一覧【表-4】

施設分類	分析分類 ※1	施設名	施設基本情報							配置情報					コスト・利用情報					分析領域	
			圏域 区分	複合 施設	建築年	償却率 (%) ※2	耐震化 (%)	想定 更新 時期 ※3	使用面積 (㎡)	用途地域	コミュニティ 協議会	避難所 ※4	危険区域			コスト		利用率・利用量			
													土砂	津波	洪水	実績(全市平均)	偏差値	実績(全市平均)	実績(全市平均)		偏差値
コミュニティ系施設	B	曾野木地区公民館	Ⅲ. 地域	2	S62 ~ S62	62	100	R29	1,134.81	一種低層住居	曾野木地区				898.0 円/人/回 (928.1)	50.2	36.3 % (26)	-	56.0	1	
図書館	D	曾野木地区図書室	Ⅲ. 地域	2	S62 ~ S62	62	100	R29	75.00	一種低層住居	曾野木地区				233.0 円/冊 (346.7)	54.2	0.9 倍 (1.9)	-	44.3	2	
ひまわりクラブ	L	曾野木ひまわりクラブ	Ⅲ. 地域		H3	53	100	R33	324.00	一種低層住居	曾野木地区			○	11.1 万円/人/年 (14.7)	59.3	3.2 ㎡/児童数 (2.6)	-	43.4	2	
ひまわりクラブ	L	東曾野木ひまわりクラブ	Ⅲ. 地域	1	S54 ~ H27	60	96	R21	113.06		曾野木地区			○ ○	18.9 万円/人/年 (14.7)	39.1	2.8 ㎡/児童数 (2.6)	-	48.2	4	
高齢者福祉施設	O	老人憩の家曾野木荘	Ⅲ. 地域		H1	100	100	R11	230.19	一種低層住居	曾野木地区			○	534.0 円/人/回 (952.1)	54.2	36.5 人/日 (51.8)	15.8 人/100㎡/日 (11.5)	56.8	1	
保育園	K	曾野木保育園	Ⅲ. 地域		S50 ~ H13	70	100	H27	573.85	一種中高層住居	曾野木地区			○ ○	160.9 万円/人/年 (115.5)	35.9	10.4 ㎡/園児数 (9.2)	-	45.1	4	
保育園	K	第二曾野木保育園	Ⅲ. 地域		S52 ~ S52	69	99	H29	704.38	一種中高層住居	曾野木地区			○ ○	131.5 万円/人/年 (115.5)	45.1	12.1 ㎡/園児数 (9.2)	-	38.5	4	
保育園	K	ことぶき保育園	Ⅲ. 地域		S56	83	98	R3	869.13	一種低層住居	曾野木地区			○	102.2 万円/人/年 (115.5)	54.1	9.6 ㎡/園児数 (9.2)	-	48.5	2	
学校教育施設	H	曾野木小学校	Ⅲ. 地域		S40 ~ H11	58	99	R7	6,680.46	一種低層住居	曾野木地区	○		○	67.5 万円/人/年 (83.6)	53.7	20.5 ㎡/人 (24.4)	-	52.5	1	
学校教育施設	H	東曾野木小学校	Ⅲ. 地域	1	S54 ~ H27	60	96	R21	6,484.89		曾野木地区	○		○ ○	120.5 万円/人/年 (83.6)	41.5	33.4 ㎡/人 (24.4)	-	44.1	4	
学校教育施設	I	曾野木中学校	Ⅲ. 地域		S60 ~ S60	78	100	R27	7,341.61		曾野木地区	○		○ ○	94.9 万円/人/年 (91.6)	49.2	27.0 ㎡/人 (31.3)	-	52.3	3	
庁舎系施設	-	曾野木連絡所	Ⅲ. 地域	2	S62 ~ H18	62	100	R29	817.98	一種低層住居	曾野木地区			○	-		-	-			
ホール施設	A	新潟勤労者総合福祉センター	I. 全市域		H6	50	100	R36	11,728.87		曾野木地区			○	449.0 円/人/回 (1283.1)	58.9	45.7 % (41.8)	-	51.4	1	
スポーツ施設	E	新潟市アイスアリーナ	I. 全市域		H26	15	100	R56	5,608.50		曾野木地区			○	-3.0 円/人/回 (597.1)	59.5	351.0 人/日 (292.5)	6.3 人/100㎡/日 (5.7)	52.3	1	
その他公共用施設	-	産業振興センター	I. 全市域		S62 ~ H4	64	100	R29	8,875.36		曾野木地区			○	-		-	-			
公営住宅	-	曾野木住宅	-		S44 ~ H26	68	99	R40	54,967.54	一種中高層住居	曾野木地区			○ ○	-		-	-			

【記載の条件】一覧表掲載情報は、令和2年4月1日現在で財産白書の対象施設を掲載しています。また、コスト・利用情報は、令和元年度財産白書別冊から引用しています。

※1 分析分類欄の英字は、施設のコスト、利用を比較する現状分析の分類を表し、「地域別検討資料について」の「表① 用途分類別分析指標と現状分析の分類」から引用しています。

分析分類欄が「空白」の施設は平成30年度以降に新設又は新規調査した施設であり、現状分析の対象とはならないものの参考として施設情報を掲載しています。

※2 償却率は「減価償却累計額/再調達価額×100」により算出しており、財産上の残存価値（耐用年数からの経過）の基準とし建物老朽化の目安としています。

※3 建替え想定時期は、鉄筋コンクリート及び鉄骨造を60年、木造及び軽量鉄骨造を40年と想定して算出しています。

※4 指定避難所を「○」印、補助避難所を「◇」印で表記しています。

■ その他の施設【表-5】

地域内の国県施設	該当なし
地域内の民間類似施設	認定こども園曾野木まるみ幼稚園、YOU 鐘木保育園、コスモス鐘木保育園（保育園・子育て支援センター）、いぶき保育園、東京学館新潟高等学校